

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年 3月 28日

事業所名：福岡市立東部療育センター分園 すてっぷ松香台

保護者等数（児童数） 72

回収数 67

割合 93.1%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	61	5	0	1	・マラソン等々をする時にはせま いかなと感じます。 ・室内を見ることがないのでわか らない。	・基準に基づいた設備（広さ）と なっています。活動内容によっ て、部屋の使い方を工夫し安全に 活動できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	65	2	0	0	・前半の頃より後半になって職員 の方の人数が減ったような気がし ます。子どもたちが6人いると最 初の頃くらい先生がいらっしゃる といいかと思ひます。	・配置基準に基づいた職員配置を 行っています。 必要に応じて多めに職員を配置し ていることや職員不在時は代替職 員を配置しています。
	3-1	生活空間は、お子さんにわかりやすく「構造化された環境」【注 i】になっていると思いますか。	63	2	0	2	・うちの子は大人の動きを見て タオルをかけてかきしたものは動 かしてもタオル=おもちゃではい りません	・理解されていても視覚的な環境 の整備を行うことによって活動に 集中できていると思います。
	3-2	障がいのある特性に応じて、事業所の設備等は、バリアフリー化やわかりやすい情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	62	2	0	3	・園の設備について申し訳ないこ とにバリアフリーといった視点的 の説明を受けたか覚えていません。	・スケジュールの提示やイラスト などを使って視覚的にわかりやす く見通しが持てるように環境設定 を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	65	1	0	1		・日常的に清掃と消毒に努めてお ります。活動に合わせて室内を分 けて分かりやすく過ごしやすいよ うに考慮しております。
適切 な支 援の 提供	5	お子さんのことを十分に理解し、お子さんの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	64	2	0	1	・特に感じる時と今日は何だっ た？と思う時と再確認です。 ・初めての先生はその子の特性を 何回か見て分かった上でかわっ た方がよいのかもありません。	・活動内容によって十分な支援や 説明ができていなかったことが あったかと思ひます。保護者への 十分な説明と共に支援方法につ いて検討していきたいと思ひます。 ・新規の職員についてはお子様 についての伝達をしっかりと行っ ていきます。
	6	園が公表している「年間カリキュラム」【注 ii】は、園の提供する支援内容と合っていると思いますか。	65	0	0	2		・年間カリキュラムに合わせて支 援計画を立てています。
	7	お子さんのことを十分理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、「児童発達支援計画」【注 iii】（年間・半期の目標、まとめ等）が作成されていると思いますか。	65	1	0	1		・日常のお子さんの状況を把握 し、家庭や並行通園の園での状況 を個別面談等を通して知ること により課題設定や保護者のニーズ を踏まえた支援計画を作成してい ます。
	8	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」【注 iv】に示された支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	63	2	0	2		・お子さんの発達段階や特性に応 じた支援内容を設定しています。 児童発達ガイドラインの観点から 適切な支援内容が設定できるよ うにしています。
	9	「児童発達支援計画」（年間・半期の目標、まとめ等）に沿った支援が行われていると思いますか。	63	3	0	1		・職員全員でお子さんそれぞれの 支援計画と最新の状況の確認を行 い、共通認識のもと支援を行っ ています。
	10	園の「活動プログラム」【注 v】が固定化しないよう工夫されていると思いますか。	64	0	0	3		・季節的な内容を取り入れながら年 齢を通して様々な活動を経験でき るように工夫しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さんとは活動する機会がありますか。	64	1	1	1	・すてっぷ松香台が保育園と交流 しているかという意味なら今のと ころその機会はなかったかと	・ほとんどの方が幼稚園や保育園 との並行通園されていますので、 そのような機会を設けていませ ん。

保護者への説明等	12	契約時に、運営規程、「年間カリキュラム」【注ii】、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。	66	1	0	0	・契約時に重要事項説明書と契約書の説明を行っています。
	13	「児童発達支援計画」（年間・半期の目標、まとめ等）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	65	1	0	1	・毎回、児童発達支援計画書を示しながら説明を行っています。
	14	園では、家族に対して家族支援プログラム（「ペアレント・トレーニング」【注vi】等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	62	4	1	0	・基本は共有する相手がいないので子ども本人との向き合いのみ ・あまり参加できずもうしわけありません。 定期的なクラス懇談や学習会を行っています。それ以外にも心配事などありましたら内容に応じた情報提供を行っています。
	15	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	67	0	0	0	・送迎時の伝達や連絡ノート、個別面談や活動の振り返り等でお子さんについての共通理解に努めています。
	16	定期的に、保護者に対して面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	67	0	0	0	・できればもう少し園での様子を画像や動画で見れる機会があればよかったです。 ・単独通園では学期に一度のクラス懇談でそれぞれの活動の様子をスライドにして見て頂いています。参加できなかった方にスライドを見る機会を作ります。 ・定期的な面談（年3回）を行っています。また、活動の振り返りや送迎時や時間を設けて困りごとや子育てに関する相談に助言することや情報提供を行っています。
	17	園の職員から、共感的に支援をされていると思いますか。	65	1	0	1	・保護者の気持ちに寄り添い支援できるように努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がなされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がなされていますか。	0	0	0	0	
	19	お子さんや家族からの相談や申し入れについて、「対応の体制が整備」【注vii】されているとともに、お子さんや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	64	1	0	2	・辛いことによりあまりそのような相談が必要だったことがなく、定期的な面談で充分だったと思います。 ・ありがとうございます。 ・対応の窓口に関しては契約の時にお伝えしていますが、十分に周知できるよう掲示や定期的な説明を行います。 ・相談や申し入れに対して迅速かつ適切に対応できるように努めます。
	20	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	67	0	0	0	・今後もお子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達がスムーズに行われるように配慮します。
	21	定期的に、通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果がお子さんや保護者に対して発信されていますか。	58	7	1	1	・このアンケート時に有ることを知った。 ・基本的に紙媒体でのお知らせ。半年に一度の写真のスライドショーなので、もう少し発信の種類があってもいいのではと感じます。 ・SNSを見ない。（あまり） ・東部療育センターのホームページに自己評価の結果をあげておりますのでご覧になってください。次年度、連絡機能アプリの導入を検討しております。
22	個人情報の取扱いに十分留意されていると思いますか。	66	0	0	1	・個人情報マニュアルを作成し、これに基づき取り扱っています。	
非常時	23	園では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	66	0	0	1	・各マニュアルについて整備し、契約見、懇談の際に説明し、いつでも閲覧できるようにしています。
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	65	0	0	2	・お話を聞いただけですが訓練はしていると思います。 単独通園クラスでは年3回、親子通園クラスでは年1回の避難訓練を実施しております。

の 対 応	25	お子さんの安全を確保するための計画について周知される等、安全確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	64	1	0	2		・遊具の点検や危険個所の有無について定期的に点検し安全に療育を行えるように配慮しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した場合、速やかな連絡や状況の詳しい説明がされていると思いますか。	61	1	0	5	・何もおきていません	・怪我等が発生した際は、速やかに対応、連絡を行っています。詳しい状況について説明を行っています。
満 足 度	27	お子さんは通園（通所）を楽しみにしていますか。	はい	やや楽しみにしている	どちらともいえない	いいえ	わからない	・たまに、かたにさん行かないと消極的な様子を見ることがあります。 ・本人がまだ理解できていないので。（3）
			57	8	1	0	1	
	28	お子さんは安心感をもって通所されていますか。	はい	やや楽しみにしている	どちらともいえない	いいえ	わからない	・今後も全てのお子さんが安心感を持って通園できるように努めます。
29	（総合的にみて）事業所の支援（サービス）に満足されていますか。	満足している	やや満足している	どちらともいえない	不満である	わからない		・支援や療育内容に満足していただけよう今後も努力します。
		63	3	1	0	0		

（注釈）

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、机や本棚の位置やついたての使用などで刺激を整理し、お子さん本人がその場所で何をしたらいいかをわかりやすくする工夫です。
- ii 「年間カリキュラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
- iii 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標とその達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載した計画のことです。これは、児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。
- iv 「児童発達ガイドライン」は、児童発達支援の提供すべき支援として、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を規定しています。本人支援とは、子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の5つの領域での支援のことです。家族支援とは、お子さんが安定して育ち、暮らしていくことを目的として、家族が安心して子育てを行うことができるよう、様々な家族の負担を軽減していくための物理的・心理的な支援を行うことです。移行支援とは、あなたのお子さんが、お住いの周囲の一たちから理解され、家族として安心して地域参加するための支援のことです。
- v 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの特性や発達の課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- vi 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がお子さんの行動を観察してお子さんの特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等の関わりのコツを学ぶことにより、お子さんが適切な行動を獲得し、保護者がポジティブな気持ちで子育てに向かうことを目標とした家族支援です。
- vii 「対応の体制の整備」は、保護者が事業所に対して、相談や「こうしてほしい」というお願いをする際に、誰に、どこにお話をすれば良いか、が決まっていて、それを保護者に知らされていることも含まれています。また、対応とは、相談やお願いに対して、迅速かつ適切な対応をすることだけでなく、対応の必要がないことや対応できない事情について保護者が理解できる説明を行うことも含まれます。